

高齢者の事故を防ごう
秋の全国交通安全運動

総務課（防災統計係）

52 2112

短い夏が終わり、秋が駆け足でやってきます。この時期は、日ごと日没が早まることから、薄暮時に歩行中や自転車を利用している高齢者が被害に遭う交通事故が多く発生しています。

また、各地では、秋のお祭りや各種イベントが開催され、観光や行楽などで車を運転する機会が多くなりますが、つい無理な計画を立ててしまい、車のスピードを出しがちになるため、次の期間に『秋の全国交通安全運動』を展開します。

期間 9月21日(水)から30日(金)までの10日間



運動の重点

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時の歩行中と自転車乗用中の交通事故防止
- 3 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 スピードの出し過ぎと飲酒運転の防止



皆さんにお願いしたいこと

- ・高齢者や車椅子を利用されている方などを見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転を行いましょう。
- ・デイ・ライト（昼間点灯）を実践し、安全運動への参加を呼びかけましょう。
- ・薄暮時・夜間は、車の運転席から歩行者の姿が見づらくなり、大変危険です。特に夜間の外出時には、ドライバーからよく

見えるように、明るい色の服装を選ぶとともに、夜光反射材の着用を心がけましょう。また、自転車を利用するときは必ずライトを点灯しましょう。

- ・スピードの出し過ぎや無理な追い越しなどの無謀運転が事故につながります。スピードダウンでゆとりを持った運転に心がけましょう。
- ・飲酒運転は大きな事故につながります。飲酒が予想される場所には車で出かけないようにしましょう。また、同乗者も運転者が飲酒することのないよう注意しましょう。
- ・行楽に出かけるときは、無理のない計画を立て、時間にゆとりを持ちましょう。
- ・運転席、助手席の方はシートベルトを正しく着用し、後部座席の同乗者にも着用してもらいましょう。また、子供には、年齢や体型に応じたチャイルドシートを着用させましょう。

9月9日は「救急の日」

命を救おう！心肺蘇生法講習会

心肺停止からわずか3分、呼吸停止では10分で死亡率が50パーセントに達します。もし目の前で、突然、人が倒れたら。家族や大切な人だったら。助けたい！その気持ちだけでは、救うことができません。いざという時のために心臓マッサージや人工呼吸、異物除去や止血法など、救急法の正しい知識と技術を身につけましょう。

- | | |
|-------|----------------------------------------|
| と き | 9月10日(土) 午後1時から5時まで |
| と ころ | 富良野市弥生町1番2号 富良野文化会館 大会議室 |
| ビデオ上映 | 「つなげよう！救命の輪」～あなたの大切な人を救うために～ |
| 講演会 | |
| 演 題 | 「どうする？あなたの家族が倒れたら」 |
| 講 師 | 旭川医科大学医学部医学科臨床医学系 救急医学講座助教授 藤田 智 氏 |
| 受 講 料 | 無 料 |
| そ の 他 | 講演後、消防職員による救急法実技「心肺蘇生法等の応急処置」の指導を行います。 |
| 主 催 | 北海道医師会
富良野地域医療対策協議会 |



問い合わせ先 富良野医師会 ☎ 22-2767